

公表

事業所における自己評価総括表 (児童発達)

| | | | |
|----------------|--------------|--|--------------|
| ○事業所名 | こどもプラス盛岡教室 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2026年 1月 25日 | | 2026年 2月 15日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | | (回答者数) |
| ○従業者評価実施期間 | 2026年 1月 25日 | | 2026年 2月 15日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | | (回答者数) |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 3月 2日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|--|---|
| 1 | 運動遊びという、運動療育を用いた活動内容を提供している。 また、静かな活動という、運動の後に座って行う活動も併せて提供している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・運動遊びの内容を様々なものにし、子ども達の苦手な動きも取り入れながら行っている。 ・身体機能を高めるだけでなく、体を動かすことによって集中力が高まったり、姿勢の維持がしやすくなったり日常の動作がしやすくなるように活動内容を工夫している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・毎月運動についての研修を職員が受け内容に飽きのないように更に子ども達が楽しんで行えるような内容を考えていく。 |

| | | | |
|---|------------------------------------|---|--|
| 2 | 運動遊び以外の活動にも取り組んでいる。 | ・調理活動、戸外活動、製作活動なども取り入れ様々なことを経験できるようにしている。 | ・子ども達が楽しんで教室に来てくれるよう、活動内容を工夫しながら、新しい物も取り入れていく。 ・情報の収集にも力を入れる。 |
| 3 | 利用児童は年齢層の幅があり、様々な児童との関わりを持つことができる。 | ・色々な遊びを通して年齢の違う子ども達との関わりを持てるようにしている。 | ・感覚遊びを取り入れたり遊びの内容を充実させていく。 |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|------------------------|--|
| 1 | 研修を受ける機会はあるが、アウトプットする機会がうまく設けられていない。 | ・年間の計画として時間が設けられていない。 | ・研修を受けた後に全体で確認する場を設けるようにして、職員間での共有を図っていく。 |
| 2 | 多機能型ということで、利用している年齢層が幅広く活動内容が人によっては難しすぎたり、逆に簡単すぎることもある。 | ・活動内容の再確認する場が設けられていない。 | ・年齢層が幅広くいることにより、良い点もあるが活動の内容を考えていくことも必要となっている。スペースを上手く使うなど環境設定も意識しながら活動できるようにしていきたい。 |